

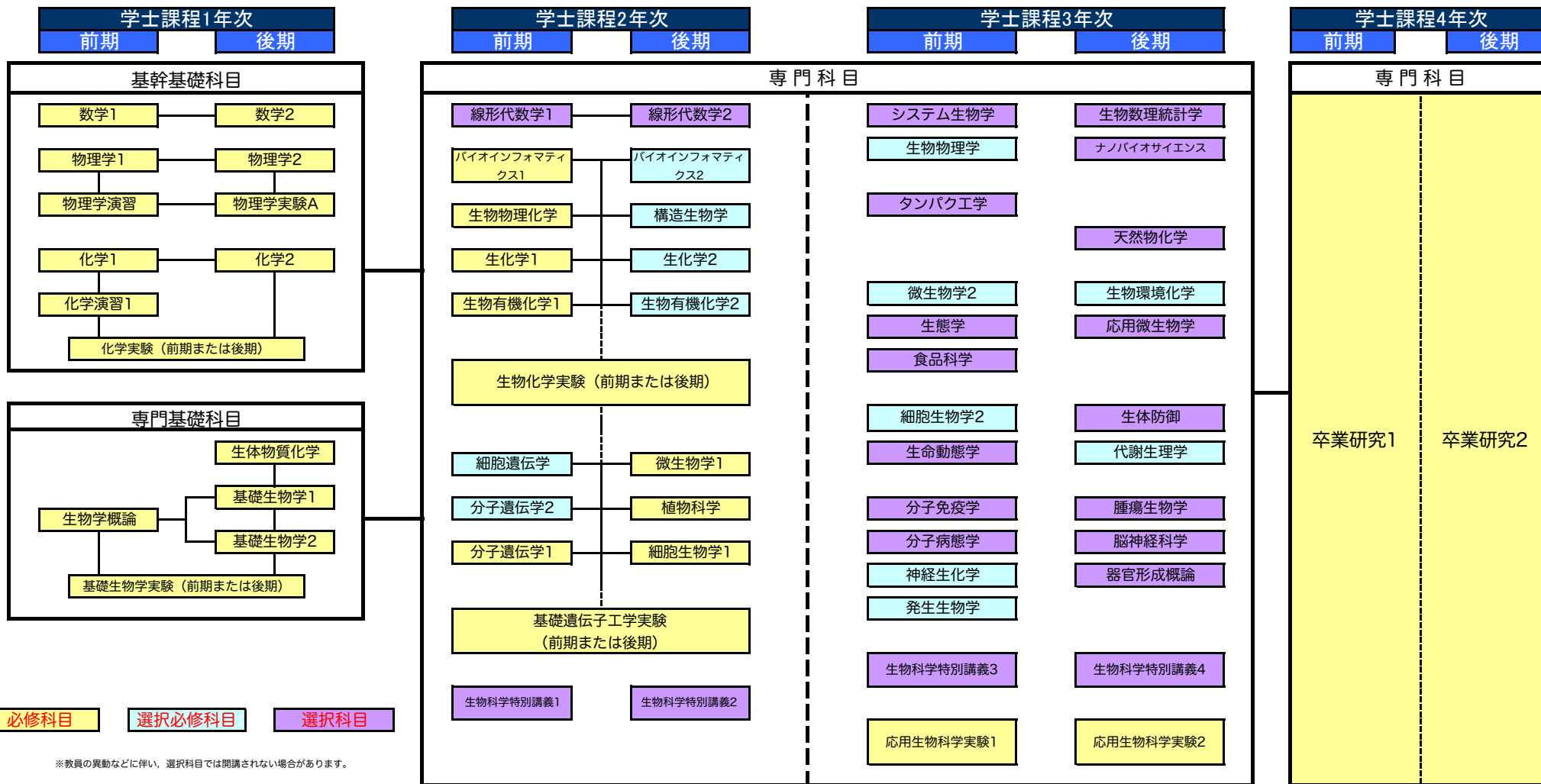
人材育成等に関する目的

生命生物科学科は、生物科学の各分野にまたがる領域を統合して体系化することにより、動物・植物・微生物の生命現象を、分子から個体・集団に至る多階層で解明できる生物科学の基盤と応用力を身に付けた人材を育成する。

カリキュラム・ポリシー（抜粋）

1. 生命の本質を探究する理学とその知見を応用する学際的な分野との連携のもとに、自然・人間・社会に係る幅広い教養を加え、教育・研究を展開し、新たな科学技術を創造するという生命生物科学科の基本理念に基づいて、本学科で定める人材育成等に関する目的を実現するための学士の教育課程を編成する。
 2. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。
 3. 段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を深めるための「一般教養科目」、各専門分野の基盤をなす「基礎科目」、各専門分野に応じた進路に必要な能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
- ※3つの方針に関するリンク先：<https://www.tus.ac.jp/about/faculty/policy/>

※下記2026年度入学生が対象のため、「必修」「選択必修」「選択」の区分や科目名称が2024年度以前入学者と一部異なることがあります。詳細は各自の入学年度の学修簿で確認し、それに従って下さい。また一般科目は省略してあります。



※教員の異動などに伴い、選択科目では開講されない場合があります。